

\* (関) …関心・意欲・態度 (工) …工夫し創造する能力 (技) …生活の技能 (知) …知識・理解

\* [小] …小学校家庭科での学習内容

\* 「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」を7時間程度行う例。

時間	指導項目	指導要領	学習活動・内容	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	指導上の留意点	評価の観点		
6	B 住生活	1 住まいのはたらき	①住まいの様々な役割	・住まいの基本的なはたらきと、住まいに必要な空間とその役割を理解する。		・住まいの絵を提示していろいろな視点で考えられるよう促す。	・住まいのはたらきには、精神的なはたらきと機能的なはたらきがあることを知る。(知) ・住まいに必要な空間についての分類ができる。(知)	
			②共に住まう	・家族によって住まい方が違うことを理解する。 ・家族の生活行為と住まいの空間とのかかわりを理解する。	・教科書p152, 153やワークシートを使って、家族による住まい方の違いや、家族の生活行為と住まいの空間とのかかわりを考え、まとめる。 【0.5時間】	・家族の人数や生活様式によって住まい方の違いや工夫しなければいけない点などを考えさせる。	・家族によって住まい方が違うことや、家族の生活行為と住まいの空間とのかかわりがわかる。(知) ・家族が心地よく住むためには、どのような工夫をすればよいかを考えることができる。(工)	
		2 健康で安全な住まい	①家族の健康と室内環境	・室内の空気が汚れる原因を知る。 ・健康に配慮した住まい方を考え、工夫する。		・トラブルの実例の新聞や雑誌の記事、写真等を使って、具体的に理解できるようにする。	・室内の空気汚染の原因と空気調節の方法がわかる。(知) ・健康に配慮した住まい方を工夫できる。(工)	
			②家庭内の安全	・家庭内の事故の種類とその原因を理解する。 ・家庭の安全を考えた住まい方を工夫する。		・身近な用具を用いて老人の疑似体験をさせたり、幼児の視線で行動させてみたりして実践させる。	・家庭内の事故の種類とその原因がわかる。(知) ・家族の安全を考えた住まい方を工夫できる。(工)	
		3 住まいと地域	①災害への備え	B (6) ア (ア), (6) ア (イ), (6) イ	・災害への備えの必要性を理解する。 ・住まいや地域における工夫を考える。		・災害の備えとは、ただ単に家具の固定や非常用持ち出し袋の用意だけを行うことではない。最も大事なことは、安全の確保であり、家族の安否の確認である。身の安全の確保に努めさせたい。	・自分の家に合った安全管理の工夫をあげることができる。(工) ・自分の家の場合の非常用持ち出し品や安全確保の方法をあげることができる。(知)
					②災害時の住まいと暮らし	・「災害の備えがある地域」とはどのような地域なのか考える。 ・厳しい避難所や仮設住宅での暮らしの中で少しでも豊かで潤いのある生活を送るにはどのようにすればよいか考える。		・長期的な避難の場合は既習事項である室内環境の調節や住まいの中のルールも大切であることや、住まいへの願いをもって生活することは暮らしを守るために大切であることを確認する。それらを少しでも成立させていくためにも、コミュニティが必要であることに気がつかせる。
	③地域に配慮した住まい方		・住まい方が地域に及ぼす影響を理解し、住まい方を工夫する。 ・生活騒音の種類と問題点を理解し、適切な防音対策を工夫する。		・他者への理解を持つことが必要であることを考えさせつつ、生活騒音を少なくする方法や工夫できる点を考えさせる。	・生活騒音の種類と問題点がわかる。(知) ・生活騒音を減らす方法や工夫をすることができる。(工) ・近隣や地域に配慮した住まい方についての工夫をあげることができる。(工)		
	これからの住生活と環境		・環境に配慮した住生活について関心をもつ。 ・環境に配慮した住生活について、問題意識をもち工夫しながら実践する。		・古民家やゼロエネルギー住宅についても知らせて、安全で、環境に配慮した取組への視点を広げるようにする。	・環境に配慮した住まい方に関心を持つことができたか。(関) ・環境に配慮した住生活の取り組みを工夫したか。(工) ・環境に配慮した住生活の社会的なはたらきを知ることができたか。(知)		
	1日学習の	①自分らしくコーディネート	・目的に合わせた衣服を自分らしいコーディネートを考える。	・教科書P168, 169やワークシートを使って、自分らしいコーディネートを考え、まとめる。【0.5時間】	・自分が外出着にしている服にはどのようなこだわりがあるか、無意識に好んでいる雰囲気やデザイン、色などに気づけるようにする。	・自分らしい衣服の組み合わせを考え、デザイン画を記入している。(関) ・目的や個性を生かす着用を考え、デザイン画に記入している。(工)		
			②衣服のはたらき	・衣服の社会生活上のはたらきを理解する。 ・目的に合った服装について考える。	・教科書P170, 171やワークシートを使って、TPOに合わせた自分らしい着方を考え、デザイン画にする。【0.5時間】	・社会的な慣習、道徳儀礼上の慣習をまとめて社会生活上のはたらきであることを伝える。 ・TPOを考えた服装は、改まった場合だけでなく、日常の中でも必要なことに気づかせる。	・社会生活上のはたらきやTPOの意味を理解している。(知)	

時間	指導項目	指導要領	学習活動・内容	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	指導上の留意点	評価の観点	
8	活用	③衣服の構成	・和服と洋服の構成のちがいや和服の着方について理解する。		・世界にはいろいろな民族衣装があることを見せ、日本の民族衣装を確認する。 ・浴衣の着方を学んで思ったこと、感じたことをまとめさせる。	・和服と洋服の構成のちがいや着方について理解している。(知)	
		④衣服の入手計画と選び方	・衣服の計画的な入手方法や活用について考える。 ・既製服を選ぶポイント、サイズや取扱表示の見方がわかり、衣服の適切な選択ができる。	・教科書P174, 175やワークシートを使って、衣服の計画的な購入や活用について考え、まとめる。【0.5時間】	・手持ちの衣服の点検をしたり、なぜ計画的な入手や活用が必要か、環境の面からも考えさせる。	・衣服の適切な選択について考え、工夫している。(工) ・既製服についている表示から情報を収集・整理しまとめることができる。(技) ・既製服の表示の意味と選び方を理解している。(知)	
	2日常着の手入れ	①衣服の汚れと手入れ	・衣服の状態に合わせた手入れの必要性を理解する。 ・衣服の状態に合わせた適切な手入れができる。			・衣服の汚れを落とす理由は、衣服を長持ちさせるために清潔にしておくことが大切であることをおさえる。 ・しみ抜きやブラシかけなどの衣服の手入れを通して自分の衣服の手入れをどのように工夫しなければいけないのかを考えさせる。	・衣服につく汚れやしみの種類と性質について理解している。(知) ・衣服の材料や汚れ方に応じた方法で日常着の手入れができる。(技) ・衣服の材料や状態に応じた手入れについて工夫している。(工)
		②衣服の素材と手入れ	B (4) ア (ア), (4) ア (イ), (4) イ, C (2) ア, (2) イ	・衣服素材に適した手入れを理解する。 ・取扱表示の意味を理解して、適切な手入れの方法を選択する。	・教科書P178~181やワークシートを使って、衣服の素材に適した手入れや、取扱表示についてまとめる。【0.5時間】	・手入れで失敗しないようにするためにはどのようにすればよいか考えさせる。	・日常着の手入れに関心をもち、洗濯の課題に取り組もうとしている。(関) ・取扱表示の意味を理解して、適切な手入れ方法を選択できる。(技) ・衣服素材に適した手入れの必要性を理解している。(知)
		③衣服の洗濯	・洗濯機を使った洗濯について理解する。	・教科書P182~183やワークシートを使って、洗濯機の洗濯についてまとめる。家の人や周囲の大人に聞き取り、まとめる。【0.5時間】	・素材に合った洗剤とその量を選び、取扱表示を参考にして、洗濯することを伝える。 ・水量や洗剤の量、方法によって環境への影響が少なくて済むことに気づかせる。	・素材に合った適切な洗濯のしかたや洗剤の使用法、洗濯機の安全で適切な使用方法がわかる。(知)	
		④衣服の収納・保管	・衣服を適切に収納・保管する方法を知る。 ・アイロン温度を適切に設定し、安全に使う。		・衣服についている取扱表示で適温を確認してかけることを理解させる。 ・火傷しないように安全に配慮する。 ・衣類の収納・保管について、家庭で工夫していることを、あらかじめ調べさせておくとよい。	・衣服に適した温度や方法で安全にアイロンをかけることができる。(技)	
		⑤衣服の補修	・衣服の傷み具合に合わせた補修方法を理解する。 ・ほころび直しの補修の実習をする。 ・後かたづけをして、製作計画表(ワークシート)にまとめる。		・用途に応じた補修方法を実習させるようにする。ズボンやスカートに共通するまつり縫いを取り上げるとよい) ・小学校での既習事項などにもふれ、忘れていた生徒がいれば個別に対応する。	・実習布にボタンとスナップを丈夫につけることができる。(技) ・すそのほころびを直すためのまつり縫いができる。(技) ・補修実習を意欲的に行っている。(関) ・補修の目的と布地に適した方法を理解できる。(知)	
		環境に配慮した衣生活	・環境に配慮した衣生活(洗濯・着用・不用衣服)について考える。 ・環境に配慮した洗濯の方法や洗剤について、問題意識をもち工夫しながら実践することができる。		・衣生活が環境に影響を及ぼしていることを説明する。 ・衣服と省エネルギー、着用方法や洗濯と環境との関連性に気づかせる。	・環境に配慮した活用方法について、すすんで考えようとしている。(関) ・環境に配慮した洗濯方法について、工夫したレポートになっている。(工)	

時間	指導項目	指導要領	学習活動・内容	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	指導上の留意点	評価の観点		
4	生活の課題と実践		<ul style="list-style-type: none"> <li>自分や家族の衣生活を見つめ、課題を見つけ出し、課題解決の計画を立てる。</li> <li>計画に従って、実践する。</li> <li>実践したことをまとめて提出物をつくる。</li> <li>提出物をもとに発表する。</li> <li>友人からの意見を聞き、家庭生活に生かしていく。</li> <li>(例) 省エネルギーを考えた着方・住まい方の提言を作ろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画を作成した後、家庭で実践し、レポート等にまとめる。【1時間】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今までの学習をふり返ると同時に、自分や家族の生活について考え、課題を設定させる。</li> <li>課題解決の計画を立てることは、生活の見通しをもつ力につながると伝える。</li> <li>課題を解決するためにどのような工夫が必要か、学習したことをもとに考えさせる。</li> <li>実践したことをふり返り、論理的に考察したことを発表させる。</li> <li>発表後に友人等からの意見を聞き、改善策を検討するなど、評価・改善する力をつけることも伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分や家族の生活をふり返ることができ、課題を見つけようとしている。(関)</li> <li>自分や家族の生活の課題を見つけることができ、その解決を目指した計画について工夫をすることができる。(工)</li> <li>自分が実践した成果と課題についてまとめ、発表している。(工)</li> <li>学習した内容を家庭で活用し、実践することの意義について気づいている。(関)</li> </ul>		
8	B 衣生活	3 布を用いた物の製作	①製作しよう	B (5) ア, (5) イ, C (2) ア, (2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分や家族の生活を豊かにする物を考える。</li> <li>製作に必要な材料・用具、目的に合った縫い方などを知る。</li> <li>用具の使い方、ミシンの基本的な操作ができる。</li> <li>自分や家族の生活を豊かにするために、自分らしいアイデアや工夫で、布を用いた作品をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>布等の材料の特徴を理解し、適切な材料選びや目的に応じた縫い方等について理解できるようにする。</li> <li>用具の安全な取り扱いと作業環境の整備が安全に影響することなどにも触れる。</li> <li>製作の過程においても、資源や環境に配慮させる。</li> <li>作品を完成させることで、成就感を味わうとともに、それを活用することを通して、資源や環境への配慮と改善点に気づかせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>完成までの見通しをもって製作計画を立て意欲的に取り組もうとしている。(関)</li> <li>自分や家族の生活が豊かになる物を考えることができる。(工)</li> <li>製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取り扱いについて理解し、資源や環境への配慮についての知識をもっている。(知)</li> </ul>	
5	C 消費生活・環境	1 家庭生活と消費	①消費生活のしくみ		<ul style="list-style-type: none"> <li>生活を支えている物資やサービスの流れを考え、消費生活のしくみを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書 P214, 215 やワークシートを使って、消費生活のしくみについて分かったことをまとめる。【0.5時間】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の生活をふり返り、具体的に考えることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物資とサービスの意味がわかる。(知)</li> <li>消費生活のしくみを理解し、消費者としての自覚をもつことができる。(関)</li> </ul>
		2 商品の選択と購入	①商品購入のプロセス		<ul style="list-style-type: none"> <li>必要なものを購入する際の購入プロセスを理解する。</li> <li>消費と環境の関連についても理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書 P216, 217 やワークシートを使って、商品購入のプロセスの要点をまとめる。【0.5時間】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用目的を考え、必要な商品を検討、選択、購入、評価することのプロセスが大切なことを理解させる。</li> <li>適切な商品選択が環境問題と関連していることに気づかせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の消費行動をふり返りニーズとウォンツを検討することができる。(関)</li> <li>必要な商品を購入するプロセスがわかる。(知)</li> </ul>
			②生活情報の活用	C (1) ア (ア), (1) ア (イ), (1) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品を購入したり利用したりするときの生活情報の収集や活用のしかたを理解する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>売る側からの情報と買う側の必要な情報の違いを理解させる。</li> <li>多くの情報の中から必要な情報を見極めることが、消費者にとって商品の適切な選択につながることを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>売る側からの情報について理解できる。(知)</li> <li>商品の購入には複数の情報を集め、検討することの必要性が理解できる。(知)</li> </ul>
			③購入方法と支払い方法		<ul style="list-style-type: none"> <li>店舗販売と無店舗販売それぞれの特徴を理解する。</li> <li>即時払い、前払い、後払いの特徴を理解する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な購入方法、支払い方法に気づくように、新しい動画などを活用して具体的に説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>店舗販売と無店舗販売の特徴が理解できる。(知)</li> <li>即時払い、前払い、後払いの特徴が理解できる。(知)</li> </ul>
			①契約と消費生活トラブル		<ul style="list-style-type: none"> <li>契約について理解する。</li> <li>消費生活におけるトラブルについて理解し、その予防方法、対処方法を知る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に行動することは再発を防止し、良い商品が生まれ、消費者全体のトラブル解決につながることに気づかせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な消費生活のトラブルについて関心をもって資料を見たり、発表しようとしていたり、他の人の発表を聞いたりしている。(関)</li> <li>トラブルへ巻き込まれないための予防方法や対処方法がわかる。(知)</li> </ul>
		3よりよい消費生活のために	②消費者を支えるしくみ		<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者を支える法律・制度・機関の必要性を理解する。</li> <li>クーリング・オフの方法がわかる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の消費生活センターを確認し、弱い立場である消費者を守るために法律や制度、機関があることを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者を支える法律や機関の必要性を理解している。(知)</li> <li>クーリング・オフ制度の内容を理解し、はがきの書き方がわかり、トラブルの解決方法がわかる。(技・知)</li> </ul>
			③消費者の権利と責任		<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な消費者の権利と責任について理解する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者にとってよりよい商品を企業に求めていくことは権利であるが、責任でもあることを、具体例を通して理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者としてとった行動が、よい商品を生み出す社会的な行動につながったことを理解できている。(知)</li> </ul>

時間	指導項目		指導要領	学習活動・内容	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	指導上の留意点	評価の観点
4	4 環境に配慮した消費生活	①自ら取り組むエコ生活	C (2) ア, (2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活における環境負荷を理解する。</li> <li>自らできる対策に主体的に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書 P 236, 237 やワークシートを使って、エコ生活について家族や周囲の大人と話し合い、自分の提案したエコ生活を改善する。【1時間】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>班やクラスでエコ生活の提案を交流し、自ら取り組む実践が決定できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分や家族の消費行動が環境に与える影響について理解している。(知)</li> <li>自分や家族の消費生活が環境に与える影響について関心をもち、環境に配慮した消費生活を実践しようとしている。(関)</li> </ul>
		②地域や社会での協力		<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に配慮した生活スタイルを実現するために、地域や社会の取り組みを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書 P 238, 239 やワークシートを使って、循環型社会に向けての取り組みについて、家族や周囲の大人と話し合い、実践しレポートなどにまとめる。【1時間】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域や社会に視点を向け、循環型社会のはたらきを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に配慮した生活スタイルを実現するための地域や社会の取り組みを理解している。(知)</li> </ul>
		③持続可能な社会		<ul style="list-style-type: none"> <li>資源を節約し持続可能な社会に必要な生活スタイルを理解する。</li> <li>持続可能な社会に向けて、自らの生活のしかたを選択し、実践する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な社会に向けて環境を考えることは、地球への影響を考えることであり、社会的にはもちろん、家庭で取り組んでいかなければならないことを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りのエネルギーの過度な使用や地球への影響について考えを発展させる。(関)</li> <li>持続可能な社会に向けて考えた生活スタイルを実践する課題に取り組む。(工)</li> </ul>